

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日「夢の学習」

1 事業実施の方針

(1) 令和2年度事業

各地域における教育・福祉事業の推進を図ることを目的として、令和2年度も5町21小学校区の地域を対象に社会教育・福祉事業を実施してきました。具体的には、令和元年度事業を継続し、土曜日を中心に体験活動を中心にした教育活動を展開してきました。更に昨年度から始めた高齢者生活支援事業も継続してきました。

夢の学習は社会教育の無償化を推進していくため参加費・材料費は徴収しません。また、学びの意欲を尊重し、可能なかぎり希望者が参加できるよう配慮してきました。残念ながらコロナ禍の為三密を避けながらの実施となり、制限を設けた取り組みとなりました。

また、令和2年度は、高齢者を対象とした事業を展開しましたが、さらに成人を対象とした市民講座にまで発展させることが出来ました。今後も広く全ての世代が活用できる社会教育・福祉事業に関わる夢の学習を展開していきます。

(2) 事業の成果と次年度の取り組み

令和2年度の主な成果と課題について報告しておきたいと思えます。

令和2年度は、コロナウイルスの影響で、4月、5月、6月一週目まで学校が休校となり、夢の学習もその間中止することになりました。しかし、新入学生等の学校にいけない家庭では、戸惑いがあり、家庭でできるキット類の作成を行ってきました。その活用は予想以上の成果をもたらすことが出来ました。

完成マスク、マスクキット合わせて約8,500枚、ぬり絵セットや工作セット約5,000セットは、多くの住民に役立てていただくことが出来ました。とりわけ、ぬり絵などのキット類は、福祉施設で活用していただき、マスクキットについても高齢者施設で作製されたことを聞きました。8月には、小中学校の児童生徒に簡単朝食レシピ集を配布しました。また、一人暮らし高齢者にも活用していただくことが出来ました。

さらに、次年度に向けての課題も数多く見つけることが出来ました。それらを総合的に事業としていくことで、いくつかの課題が同時に対応できることも分かってきました。

また、課題解決が住民主体の活動となっていくための手法の一つとして、「ゆめのHEYA」構想を推進していくことになりました。

「ゆめのHEYA」は、住民が直接課題解決に向かおうとする活動です。

次年度の活動の中核を担う活動としていきたいと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①地域づくりのための社会教育事業 ②以下の全ての事業を含む	○体験活動を中心とした約100種の講座を年間1000回実施 1196回実施することが出来た。	○原則毎週土、日曜日9:00~12:00 ○平日の成人向け学習講座の開催	○5町中央公民館、各区・自治会の集会所、各町スポーツ施設、学校等やく30か所での実施。 77か所で実施できました。	○ボランティア登録者数400名を500名目標に実施する。 530名の登録ができました。	○乳幼児から高齢者までの15,000人から20,000人を目標にする。(昨年度は12,719人参加) コロナ禍のため1167回11,963人参加	(25000) ○②以下の事業費を含む。 ○助成金事業は、その事業内で使用。
②地域連携に関する事業	○スポーツ団体との連携事業	○原則毎週土・日曜日9:00~12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	○学校体育館・市民体育館・ホール等	○野球・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス・剣道・空手・合気道・バスケットボール 月40人以上。 教室数25	○参加者全体の約2割	市委託費
	○相談活動。	○原則毎週土曜日実施	○水口中央公民館相談室	○3名(元校長等)	小学生約60名。 不登校児童・生徒3名	
	○地域の伝統文化に関する事業	○原則毎週土・日曜日9:00~12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	○各町関係施設	○百人一首・囲碁・将棋・けん玉・茶道・伝統料理・郷土料理・書道・そろばん等、約50名 他に約27種の学習教室講師	対象者親子並びに子ども。市内保幼小中を対象に約9,000名。	○内文化庁伝統文化親子教室・土曜学習事業に 水口支部(862) 甲南支部(862) 合計1,724
	○地域事業との連携事業 コロナ禍で中止となる	○原則毎週土・日曜日9:00~12:00 であるが、地域事業に合わせて実施。	○飯道山清掃活動 ○のろし駅伝 ○正月早朝登山等の自然・地域	○関係運営組織との連携協働事業 本会からは、約30名。	○それぞれの事業によって数名~数十名	

③福祉に関する事業	○生活支援事業 地域出前講座 ○サロン活動との連携事業年間2回実施	○年間を通して実施 ○土曜日 9:00~ 12:00	○水口中央公民館他公民館・集会所等 サロン活動・地域事業実施場所	○生活支援にかかわる事務局及びボランティア約30名 ○夢の学習発表会を兼ねて実施 全18回実施	○対象者は、市内高齢者 延べ参加者 436名	○地域共生型社会推進事業助成金342 ○市委託費による
	○高齢者施設訪問事業 みんなの家等訪問	○マリーゴールド栽培 ○葉牡丹栽培に合わせて実施	○各関係施設訪問	○それぞれの参加者	○施設関係者も含めた総数。	○市委託費による
	○乳幼児の一時預かり事業 講座開催中の時間帯の実施	○講座開設時間帯。	○各事業実施場所に積み木・本等を置き居場所を作って対応	○各講座に特別スタッフを配置	○年間就学前親子参加者を3,000名。令和元年度実績2,572名 令和2年度1,695名	設備準備については助成金を申請。
	○子ども食堂事業5町で実施、年間約50回予定 コロナの為に中止	○5町で実施。土曜日の午前中に実施。参加状況により午後や日曜日に実施。	○綾野小学校家庭科室 甲南青少年活動センター等全9カ所から10カ所を予定。	○年間延べボランティア約250名参加協力予定	○平成30年度996人、令和元年度1,357名の参加であったことから1,500名を目標に実施する	
	○コロナウイルス対策事業 ○マスクキット作成 ○マスク作成 ○ぬり絵や工作キットの作製	○親子でのマスク作成 自宅での活動 ○高齢者のボランティアによる自宅でのマスク制作活動並びにマスクキットの作成	○自宅	○マスク年間約6,000枚提供。 在庫完成マスク2,000枚 ○がq句集キット年間約5,000セット	○高齢者、中校生、小学生保護者 ○高齢者	甲賀市委託費
	○夢の学習推進活動	○年間通した活動	○県内外で実施。	○スタッフ	○次年度の	市委託費から 図書費として

広報活動	○コミュニティーチャートを基本にした事業推進と研究活動	○昨年末の課題 20 についての課題解決のための推進活動	○市内での実践を通じた活動	一同で推進していく。 ・研究骨子の作成 ・データの収集と分析 ・発表者のプレゼン作成	資源としてチャートに残していく。 夢の学習ボランティア 500 名の資源 甲賀市民 90,000 人	アンケート調査などの研究推進費として
	○滋賀県福祉学会研究発表会での発表	○2 レポートの発表。	○本年度の実践からまとめる	夢の学習ボランティア 500 名		
	○伝統・郷土料理レシピ集の作成事業	○年間	○ボランティアによる自宅での作成	○約 12 名延べ 150 名	市内関係機関・個人に配布 1,000 部 継続使用	市委託費より
	○朝食レシピ集発刊事業	○年間	○ボランティアによる自宅での作成	○約 5 名	○年間を通して配布 8,000 部 中学校にも配布 ○冊子にまとめられた時 市内関係機関・個人に配布 1,000 部 継続使用	市委託費より 310
	○オール甲賀でのりこえようポストカード配布事業	○5 月実施	○事務局		○市内小学校児童及び中学生 約 8,000 部	市委託費より
	○学習講座案内配布	○年間	○事務局	○事務局員 28 名	○保・幼・小・中・成人 一部回覧により周知	市委託費より

決算報告書

第4期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

滋賀県甲賀市水口町綾野3番51号

活動計算書

[税込] (単位:円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 87,000

【受取寄付金】

受取寄付金 556,550

【受取助成金等】

受取助成金 2,109,000

受取補助金 60,000 2,169,000

【事業収益】

受託事業収益 24,365,000

【その他収益】

受取 利息 51

経常収益 計

27,177,601

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

ボランティア評価費用 2,393,000

人件費計 2,393,000

(その他経費)

諸 謝 金(事業) 342,750

印刷製本費(事業) 1,261,861

教 材 費(事業) 674,011

消耗品 費(事業) 2,001,471

賃 借 料(事業) 1,150

研 修 費(事業) 56,600

その他経費計 4,337,843

事業費 計

6,730,843

【管理費】

(人件費)

給料 手当 16,554,000

法定福利費 704,167

人件費計 17,258,167

(その他経費)

印刷製本費 6,950

会 議 費 33,710

旅費交通費 622,400

通信運搬費 813,596

消耗品 費 1,434,955

新聞図書費 72,969

保 険 料 392,184

諸 会 費 4,375

租税 公課 1,108,000

支払手数料 383,110

雑 費 158,000

その他経費計 5,030,249

管理費 計

22,288,416

活動計算書

[税込] (単位:円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

経常費用 計	29,019,259
当期経常増減額	△1,841,658
【経常外収益】	
経常外収益 計	0
【経常外費用】	
経常外費用 計	0
税引前当期正味財産増減額	△1,841,658
法人税、住民税及び事業税	72,207
当期正味財産増減額	△1,913,865
前期繰越正味財産額	3,038,127
次期繰越正味財産額	1,124,262

貸借対照表

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習
全事業所

[税込] (単位:円)
令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	300,499
他店商品券	394,500
普通預金	<u>3,292,305</u>
現金・預金計	3,987,304

(売上債権)

未収金	<u>60,000</u>
売上債権計	<u>60,000</u>

流動資産合計

4,047,304

【固定資産】

(有形固定資産)

什器備品	<u>445,934</u>
有形固定資産計	<u>445,934</u>

固定資産合計

445,934

資産合計

4,493,238

《負債の部》

【流動負債】

買掛金	15,274
未払金	2,160,488
預り金	13,614
未払法人税等	72,200
未払消費税等	<u>1,107,400</u>

流動負債合計

3,368,976

負債合計

3,368,976

《正味財産の部》

前期繰越正味財産

3,038,127

当期正味財産増減額

△1,913,865

正味財産合計

1,124,262

負債及び正味財産合計

4,493,238

財 産 目 録

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

[税込] (単位:円)
令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金		300,499
他店商品券	商品券	394,500
普通 預金	滋賀銀行/綾野支店ほか	3,292,305
現金・預金 計		<u>3,987,304</u>

(売上債権)

未 収 金		60,000
売上債権 計		<u>60,000</u>

流動資産合計

4,047,304

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	パソコンほか	445,934
有形固定資産 計		<u>445,934</u>

固定資産合計

445,934

資産合計

4,493,238

《負債の部》

【流動負債】

買 掛 金	JCB利用ほか	15,274
未 払 金	3月分給料ほか	2,160,488
預 り 金	源泉所得税	13,614
未払法人税等		72,200
未払消費税等		<u>1,107,400</u>

流動負債合計

3,368,976

負債合計

3,368,976

正味財産

1,124,262

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日（2017年12月12日最終改正）NPO法人会計基準協議会）によっております。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づき、定率法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

2. 固定資産の増減内訳

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	期中取得	期中減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器 備品	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 775,438	445,934
	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 775,438	445,934

以上